令和７年度事業報告

令和７年度も各都道府県協会並びに関係諸団体・組織との連携・協力のもと、事業が実施された。

運営面では、本協会の安定した運営・経営については事務局体制を強固なものとし、協会役員及び各委員会が結束して事業の計画、実行、そして振り返りのＰＤＣＡを実施した。また、引き続き本協会が策定した「スポーツ競技団体ガバナンスコード」により、継続的に健全な組織団体としての運営を目指し、中・長期計画を実行し、選手強化、競技人口の拡大、国際レベルの競技運営能力、国際発信力の向上並びに財政の確立等を行った。更に、ガバナンスの向上を深め社会的責任を自覚し、公益社団法人としての使命を果している。

強化面では、令和７年度の最大目標は１０月に開催された２０２５世界選手権に向けての強化であり、男子は７１kg級宮本昌典選手が、世界記録を更新して、銀メダルを獲得した。女子は８６kg級で長島和奏選手が５位に入賞した。２０２８ロサンゼルスオリンピックの選手選考方法も発表され、最大男女３名ずつ獲得できるような強化を行う。また、２０３２ブリスベンオリンピックに向けて若手選手の強化を継続して実施し、ロサンゼルスオリンピック・ブリスベンオリンピックではメダル獲得を目指している。併せて小・中学生の素材のあるタレント発掘・育成事業も実施した。

２０２６年アジア競技大会が愛知県名古屋市で開催されるので本協会の各役職者を配置した。これまでの国内で国際大会を開催した経験や２０２０東京オリンピック大会の運営力を生かし、愛知・名古屋組織委員会及びアジア連盟と共に協力し大会準備を進めている。

【公益事業】

Ⅰ．競技力向上事業

１．選手強化事業

(1) 国内合宿

公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、強化拠点である「味の素ナショナルトレーニングセンター専用練習場」を中心に、国際競技力の向上を目標とし実施した。

ナショナル合宿については、2028ロスオリンピックを目指してのそれぞれの強化、また、次世代合宿については2028ロス、2032ブリスベンオリンピックを目指した強化を実施、スポーツ医科学の面やハイパフォーマンススポーツセンターの各種サポートを活用した。

【ナショナル合宿】

No	合宿名	期間	指導者数	選手数	場所
1	国内合宿（ナショナル合宿　男女）	5/ 7～ 5/14	６名	１４名	東京都　NTC
2	国内合宿（ナショナル合宿　男女）	5/25～ 6/4	４名	７名	東京都　NTC
3	国内合宿（ナショナル合宿　男子）	6/11～ 6/18	４名	６名	東京都　NTC
4	国内合宿（ナショナル合宿　女子）	6/18～ 6/24	３名	５名	東京都　NTC
5	国内合宿（ナショナル合宿　男女）	7/ 9～ 7/15	３名	１２名	富山県　滑川市
6	国内合宿（ナショナル合宿　男子）	7/21～ 7/26	４名	１０名	東京都　NTC
7	国内合宿（ナショナル合宿　女子）	7/29～ 8/ 4	２名	３名	東京都　NTC
8	国内合宿（ナショナル合宿　男女）	8/22～ 8/30	６名	１１名	東京都　NTC
9	国内合宿（ナショナル合宿　男女）	9/24～10/ 4	９名	１３名	東京都　NTC
10	国内合宿（ナショナル合宿　女子）	12/14～12/20	４名	７名	東京都　NTC
11	国内合宿（ナショナル合宿　男子）	1/ 5～ 1/14	３名	６名	沖縄県　国頭村
12	国内合宿（ナショナル合宿　女子）	1/ 5～ 1/14	２名	８名	愛媛県　新居浜市
13	国内合宿（ナショナル合宿　女子）	3/ 4～ 3/11	４名	１０名	東京都　NTC

【次世代育成合宿】

No	合宿名	期間	指導者数	選手数	場所
1	国内合宿（世界Jr/ユース代表合宿）	4/24～ 4/29	７名	９名	東京都　NTC
2	国内合宿（次世代育成合宿）	5/25～ 6/ 4	４名	８名	東京都　NTC
3	国内合宿（中学生選抜合宿）	7/ 5～ 7/ 6	１３名	１２名	東京都　NTC
4	国内合宿（東アジア選手権事前合宿）	7/26～ 7/28	６名	１６名	東京都　NTC
5	国内合宿（日韓ジュニア交流合宿）	8/20～ 8/22	５名	１６名	東京都　NTC
6	国内合宿（次世代育成合宿）	8/24～ 8/30	４名	８名	新潟県　津南町
7	国内合宿（大学生選抜合宿）	9/19～ 9/21	３名	９名	東京都　NTC
8	国内合宿（ｱｼﾞｱﾕｰｽｹﾞｰﾑｽﾞ事前合宿）	10/20～10/23	４名	４名	東京都　NTC
9	国内合宿（大学生・高2選抜合宿）	10/24～10/26	４名	１９名	東京都　NTC
10	国内合宿（中学生選抜合宿）	11/ 8～11/ 9	１３名	１３名	東京都　NTC
11	国内合宿（大学生選抜合宿）	11/13～11/15	２名	９名	東京都　NTC

12 国内合宿（世界ジュニア候補合宿）　1/ 5～ 1/10　４名　６名　東京都　NTC

(2) 海外合宿

公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際競技力の向上を目標に実施した。

① 合宿名 ： ナショナル合宿　男子　（韓国）
期　間 ： 令和８年２月１日～２月１１日
場　所 ： 韓国 高揚市
参加者 ： 指導者１名、トレーナー１名、選手４名、計６名

② 合宿名 ： ナショナル合宿　女子　（韓国）
期　間 ： 令和８年２月１日～２月１０日
場　所 ： 韓国 釜山金海市
参加者 ： 指導者２名、トレーナー１名、選手４名、計７名

③ 合宿名 ： 大学生海外研修合宿（米国）
期　間 ： 令和８年２月８日～２月１７日
場　所 ： アメリカ合衆国　ルイジアナ州立大学シュリーブポート校
参加者 ： 指導者２名、選手５名、計７名
実施内容： 合同練習及び語学力向上講習等

(3) 国際競技会への派遣

国際競技力の評価は、国際競技会での成績が中心となる。本会は、恒久的オリンピック選手育成の観点（一定レベルの競技力を有する）から年代別を含む競技会に、優秀選手を以下の大会へ派遣した。

① ２０２５世界ユース・ジュニア選手権大会　「次世代育成事業」
開催期間 ： 令和７年４月３０日(水)～５月５日（月）
派遣期間 ： 令和７年４月２７日(日)～５月７日（水）
場　所 ： ペルー共和国　リマ市
派遣人数 ： 指導者６名、男子選手４名　女子選手６名　計１０名
主な成績 ： 男子55kg級　泊幸大郎　266kg　優勝
男子81kg級　東　楽映　340kg　２位
女子55kg級　比嘉　成　193kg　５位
女子55kg級　佐藤和花　193kg　６位

② 日韓中ジュニア交流競技会　「日本スポーツ協会主催」
開催期間 ： 令和７年８月２６日(火)・２７日(水)
派遣期間 ： 令和７年８月２３日(土)～８月２９日(金)
場　所 ： 中華人民共和国　内モンゴル自治区
派遣人数 ： 指導者５名、男子選手８名、女子選手８名　計２１名

③ 東アジア選手権大会（日韓中フレンドシップ大会）「次世代アスリート育成事業」
開催期間 ： 令和７年７月３０日(水)～令和７年８月１日(金)
派遣期間 ： 令和７年７月２８日(月)～令和７年８月２日(土)
場　所 ： 中華人民共和国・福州市
派遣人数 ： 指導者６名、男子選手８名　女子選手８名　計２２名
主な成績 ： 男子団体　１位ＫＯＲ　６１９　２位ＪＰＮ　５７２　３位ＣＨＮ　５３１
４位ＭＧＬ　３０５　５位ＭＡＣ　６５　６位ＨＫＧ　６２
女子団体　１位ＣＨＮ　６３６　２位ＫＯＲ　５９６　３位ＪＰＮ　５４７
４位ＭＧＬ　３９９　５位ＴＰＥ　２５１　６位ＨＫＧ　６３

④ 世界選手権大会「ＮＦ強化事業」
開催期間 ： 令和７年１０月　３日(金)～１０月１２日(日)
派遣期間 ： 令和７年　９月２９日(月)～１０月１３日(月)
場　所 ： ノルウェー王国　フェルデ市
派遣人数 ： 指導者５名、男子選手５名　女子選手５名　計１５名
主な成績 ： 男子７１kg級　宮本昌典　３４５kg　２位
女子８６kg級　長島和奏　２４６kg　５位

⑤ アジアユースゲーム　「ＪＯＣ派遣・次世代育成事業」
開催期間 ： 令和７年１０月２２日(水)～１０月３１日(金)
派遣期間 ： 令和７年１０月２６日(日(～１０月３１日(金)
場　所 ： バーレーン王国　マナーマ市
派遣人数 ： 指導者４名、選手　４名
主な成績 ： 男子５６kg級　天久星七　スナッチ１１２kg　２位
男子６０kg級　比嘉　歩　スナッチ１１０kg　３位

(4)国際大会開催
令和７年度は国内での開催はなかった。
(5) スポーツ医・科学研究事業との連携に基づく強化
① 日本スポーツ振興センター（ＪＳＣ）・国立スポーツ科学センター（ＪＩＳＳ）・日本オリンピック委員会（ＪＯＣ）よりのハイパフォーマンス事業（ＨＰＳＣ）を受け実施した。
ア）栄養、心理、トレーニング、情報、科学の各分野が連携した医・科学支援を受けた。
イ）ウエイトリフティングの技術について、世界選手権大会及び全日本選手権大会、全日本ジュニア選手大会でビデオカメラ撮影し、動作解析して、選手・指導者へのフィードバック、その内容について全国指導者研修会での報告、会報等への掲載をした。
ウ）フィットネスの面では、体力の把握に基づくトレーニング効果の検証とトレーニングの方向性の客観的指標の提示を依頼した。
② ミズノスポーツ振興財団の助成により、ウエイトリフティング選手の競技会での外傷調査、整形外科及び内科疾患の関りについて次の調査研究を実施した。
・ 主要競技会での救護体制強化と外傷・障害の発生頻度の調査・分析を行った。
・ 競技と整形外科疾患の相関性に関する継続的な研究を行った。
・ 内科疾患（運動と心臓との関係）に焦点を当てた新たな調査を行った。
※詳細報告は本協会ＨＰおよび会報に掲載した。
(6) ハイパフォーマンスディレクター及びナショナルコーチ等の活用
強化事業の計画及び実施のためコーチ等設置事業制度を活用し、スタッフを当てた。
・ ハイパフォーマンスディレクター：小栗和成
・ ハイパフォーマンスアシスタントディレクター：細川翔平
・ ナショナルチームコーチ：柴田里穂、三宅敏博、冨田史子
・ トレーナー：東野弘侑
・ 情報・科学スタッフ：長尾秀行

２．コーチの資質向上を目的とする事業
(1) 全国指導者研修会
ウエイトリフティング指導者の資質と指導力の向上及び指導者間の情報交換並びに連携を図ることを目的として開催した。
期　日　：　令和８年２月７日(土)・８日(日)
会　場　：　味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者　：　講師　７名、　参加者　　２８名
内　容　：　・令和７年度総括と2025世界選手権大会報告　・インテグリティ教育
・指導者への講演　・動作解析報告　・コーチ研修会実施
(2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者専門教科講習会講師の派遣
日本スポーツ協会の委託事業として次の事業を実施した。
① 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者「コーチ１」養成（専門教科）講習会
期　日　：　令和７年９月１３日(土)～１５日(月)
時　間　：　３０時間
会　場　：　味の素ナショナルトレーニングセンター
参加者　：　指導者　４名、　受講者　３３名
(3) 「JWA×NSCAジャパン　ウエイトリフティング実技検定」指導者育成事業
令和５年度よりスタートした標記検定は、令和７年度もＮＳＣＡ（ナショナル・ストレスレングandコンディショニング協会）と共催でウエイトリフティング指導者育成事業を実施した。

Ⅱ．競技者育成事業
１．研修合宿開催
一貫指導システム（ナショナルトレーニングシステム）の理念と方法に基づき、競技者の発掘及び育成を図ることを目的に次の研修合宿を実施した。この事業は、スポーツ振興くじ助成事業として補助を受けて開催した。
(1) 大学生研修合宿（ジュニア スペリオリティー）
大学生の選抜選手で実施した。
期　間　：　令和７年　９月８日(月)～１１日(木)　（３泊４日）
場　所　：　味の素ナショナルトレーニングセンター
参加者　：　指導者　４名　　選手　１７名
(2) 中学生・高１研修合宿（ディベロップメント）
中学生、高校１年生を対象に実施した。
期　間　：　令和７年９月１３日(土)～１５日(月)　（２泊３日）
場　所　：　味の素ナショナルトレーニングセンター
参加者　：　指導者　１２名　　選手　１９名
(3) ジュニアエリート研修合宿
高校トップ選手を選考して実施した。

期　間　：　令和７年１２月２４日(水)～２８日(日)　（４泊５日）
場　所　：　味の素ナショナルトレーニングセンター
参加者　：　指導者　８名　　選手　２４名

(4) ジュニアユース研修合宿
高校１年生及び中学生トップ選手を選抜して実施した。
期　間　：　令和７年１２月２５日(木)～２８日(日)（３泊４日）
場　所　：　全国６地区　（※地区は１２月２４日～２７日で実施）
※北海道・東北：宮城県　大河原産業高校　　指導者　５名　選手１０名
※関東　　：埼玉県　埼玉栄高校　　指導者　５名　選手１０名
北信越・東海：新潟県　ﾆｭｰ・ｸﾞﾘｰﾝﾋﾟｱ津南　指導者　５名　選手１０名
※近畿　　：滋賀県　堅田高校　　指導者　５名　選手１０名
中国・四国　：香川県　香川中央高校　　指導者　５名　選手１０名
九州　　：長崎県　諫早農業高校　　指導者　５名　選手　９名

２．２０２８年・２０３２年オリンピック対策競技者発掘・育成事業支援
(1)２０２８年ロサンゼルス・２０３２年ブリスベンオリンピック対策として、都道府県で行う競技者のタレント発掘・育成事業開催について計画し、岐阜県が実施した。
(2)ＥＮＥＯＳ社の支援の下、小学生ちびっこ交流キャンプを実施した。参加人数小学生４６名が参加し 実施内容はオリンピアン選手講演、実技指導等を行った。

Ⅲ．振興・教育事業
会員の状況及び役員・選手の登録を把握し、競技者規程・競技規則の周知、記録の公認、審判員の養成、国際交流、アンチ・ドーピング活動及びコンプライアンスの徹底等は、競技の透明性や公平・公正性を向上させることに繋がり、安全かつ公正な環境下でスポーツに参画できる機会を充実させるための基礎条件である。スポーツを通じて、他者を尊重しこれを共同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度等を培っていくためにも重要であることから次の事業を実施した。

(1) 会員の登録数
正会員　　４８名（都道府県及び学生連盟）
名誉会員　１２名（名誉会長、顧問、参与）
賛助会員　７９件（個人７１＋団体８）

(2) 役員・選手の登録状況

年度		役　員 役員兼選手	一般選手	大学選手	高校選手	中学選手	小学選手	合計
令和3年度	総数	1,217	503	621	1,925	153	32	4,451
	男子	1,105	436	498	1,495	101	17	3,652
	女子	112	67	123	430	52	15	799
令和4年度	総数	1,259	514	555	1,948	131	48	4,455
	男子	1,113	442	440	1,534	90	28	3,647
	女子	146	72	115	414	41	20	808
令和5年度	総数	1,259	515	565	1,921	130	73	4,463
	男子	1,110	446	437	1,536	84	47	3,660
	女子	149	69	128	385	46	26	803
令和6年度	総数	1,254	595	612	1983	151	90	4,685
	男子	1,093	511	484	1605	92	52	3,837
	女子	161	84	128	378	59	38	848
令和7年度	総数	1,257	557	626	2102	149	112	4,803
	男子	1,088	473	489	1726	90	65	3,931
	女子	169	84	137	376	59	47	872

(3)スポーツ外交の推進
２０２８ロサンゼルスオリンピック終了後、国際ウエイトリフティング連盟（ＩＷＦ）の役員改選が行われるため、日本の国際連盟の理事が新たに立候補するために、国際大会、国際会議等においてロビー活動を実施した。

(4) 生涯スポーツの振興
令和９年５月開催の「ワールドマスターズゲームズ２０２７関西」（開催地徳島県鳴門市）に向け、組織委員会と連携して準備を進めた。

(5) 情報の収集と情報誌の発刊
①　ＩＷＦ及びＡＷＦの会議及び大会に参加し、情報収集と併せてＩＷＦ・ＡＷＦとの連携を図るため役員を派遣し、情報収集を行った。
・世界ユース・ジュニア選手権大会　　（ＩＷＦ関係会議）

期　日　：　令和７年４月２７日(日)～５月７日(水)
場　所　：　ペルー共和国　リマ市
参加者　：　小栗和成氏、細川翔平氏

・世界選手権大会　（ＩＷＦ関係会議）
期　日　：　令和７年１０月３日(金)～１０月１２日(日)
場　所　：　ノルウェー王国　フェルデ市
参加者　：　細川翔平氏

・アジアユースゲームズ　（ＡＷＦ関係会議）
期　日　：　令和７年１０月２２日(水)～１０月３１日(金)
場　所　：　バーレーン王国　マナーマ市
参加者　：　細川翔平氏

②　スポーツ振興くじの助成を受けて、令和６年度年鑑、会報１４７号、会報１４８号、会報１４９号を発刊した。主な内容は次のとおり。

・年鑑：令和６年度の協会主催競技会及び主要国際大会の成績を掲載
協会組織図、協会役員名簿、都道府県協会役員名簿、令和６年度事業、
公認最高記録及び記録樹立表、ランキング表等

・会報：令和７年度事業計画、各種事業報告、大会講評、ブロック大会以上の競技会及び主要国際大会の成績、選手動作解析研究報告、タレント発掘事業、ジュニア教室発表等

(6) 用器具等の検定及び公認

本協会器具公認認定規則に基づき認定手続きをした。

(7) 顕彰

本協会表彰規程に基づき、功労賞、優秀選手賞、優秀指導者賞の表彰をした。また、スポンサー等へ感謝状贈呈を行った。表彰式は令和８年３月２０日に実施した。

〔被表彰者〕

○功労賞の推薦（９名）

①下村　敏美	70歳	北海道協会	現：理事	第3条2 (2)	(平成8年 ～29年間)
②会津　秀悦	66歳	青森県協会	現：会長	第3条2 (2)	(昭和61年～39年間)
③成田　幸成	65歳	青森県協会	現：理事長	第3条2 (2)	(昭和61年～39年間)
④小南　保重	65歳	山形県協会	現：副会長	第3条2 (2)	(昭和58年～42年間)
⑤原田　秀明	66歳	山形県協会	現：副理事長	第3条2 (2)	(昭和57年～43年間)
⑥月岡　伸太郎	48歳	徳島県協会	現：常任理事	第3条2 (2)	(平成14年～23年間)
⑦金城　信和	56歳	沖縄県協会	現：理事	第3条2 (2)	(平成15年～22年間)
⑧渡慶次　晃	57歳	沖縄県協会	現：副理事長	第3条2 (2)	(平成15年～22年間)
⑨佐藤　宏樹	49歳	秋田県協会	現：監事	第3条2 (2)	(平成14年～23年間)

○優秀選手賞　（９名）

第３条　第３項　（１）　２名

①男子	71kg級	宮本　昌典	(東京国際大学・職)	2025世界選手権大会　２位
②女子	86kg級	長島　和奏	(九州国際大学)	2025世界選手権大会　５位

第３条　第３項　（２）　２名

①男子	55kg級	泊　幸大郎	(日本大学)	2025世界ジュニア選手権大会　優勝
②男子	81kg級	東　楽映	(早稲田大学)	2025世界ジュニア選手権大会　２位

第３条　第３項　（３）

該当なし

第３条　第３項　（４）　９名　（・重複者）　※樹立順、記録は最高記録のみ

①男子	81kg級・東	楽映	(早稲田大学)	S 155kg	C&J 195kg	T 350kg
②女子	49kg級	鈴木　梨羅	(ALSOK)	S 86kg		
③女子	55kg級	安藤　美希子	(千葉県WL協会)		C&J 118kg	T 206kg
④男子	73kg級・宮本	昌典	(東京国際大学・職)		C&J 193kg	
男子	71kg級・宮本	昌典	(東京国際大学・職)	S 152kg	C&J 193kg	T 345kg
⑤男子	94kg級	西川　勝之	(日本大学)	S 175kg	C&J 206kg	T 381kg
⑥男子	55kg級・泊	幸大郎	(日本大学)	S 122kg		T 266kg
⑦女子+87kg級		中島　一馨	(医・光仁会 木島病院)			T 245kg
⑧女子	87kg級・長島	和奏	(九州国際大学)	S 109kg		T 246kg
女子	86kg級・長島	和奏	(九州国際大学)	S 109kg	C&J 138kg	T 245kg
⑨女子	55kg級	安部　希美	(東京国際大学)	S 90kg		

○優秀指導者賞（７名）

優秀選手を育成した指導者

①三宅　敏博　：東京国際大学(職)　・・・宮本昌典選手、安部希美選手　の指導者

②柳田　瑞季　：九州国際大学(職)　・・・長島和奏選手　の指導者
③稲垣　英二　：日本大学・監督　・・・泊　幸大郎選手、西川勝之選手　の指導者
④堀井　勇也　：早稲田大学・監督　・・・東　楽映選手　の指導者
⑤松本　潮霞　：HALEO CrossFit代官山・・・鈴木梨羅選手　の指導者
⑥出山　司　：自営　・・・安藤美希子選手　の指導者
⑦浅田　久美　：SUZU　DREAM　CLUB　・・・中島一馨選手　の指導者

〔感謝状贈呈者〕
・スポンサー関係　：いちご株式会社、ＪＴＢ、ミズノ、ＡＬＳＯＫ
・高額寄付者（免税募金等）：ウエサカティーイー、ミズノスポーツ振興財団
・功労者　：小宮山哲雄氏（長年の協会役員としての貢献により）

(8) アンチ・ドーピング活動

国際ウエイトリフティング連盟（ＩＷＦ）、ＩＴＡ、ＪＡＤＡの基準に則り、アンチ・ドーピング規則を遵守するため啓発活動と検査を実施した。

① 啓発・教育活動
・ＪＡＤＡが作成したドーピング防止ガイドブック（対象者別)を選手、アスリートサポートスタッフに配付し情報を提供した。
・各種競技会前の監督会議にて最新情報を伝達し、啓発・教育活動を行った。
・アウトリーチを全国高等学校選手権で開催、協会独自の教材も配布し情報を提供した。

② 講習会・研修会、アウトリーチの開催
スポーツ振興くじの助成及びＪＡＤＡの助成を受けて、次の事業を実施した。
・全日本選手権大会・全日本女子選手権大会参加者講習会
４月２４日　福井県福井市　福井県産業会館
・全国高等学校総合体育大会出場者アスリートサポートスタッフアウトリーチ
８月８日～１１日　米子コンベンションセンター
・大学生研修合宿参加選手・指導者　対面式ワークショップ
９月１０日　味の素ナショナルトレーニングセンター
・中学生・高校１年生合宿　対面式ワークシップ
９月１３日　味の素ナショナルトレーニングセンター
・大学生研修合宿参加者講習会
９月１０日　味の素ナショナルトレーニングセンター
・近畿地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２４日　滋賀県　堅田高校
・北海道・東北地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２６日　宮城県　大河原産業高校
・関東地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２５日　埼玉県　埼玉栄高校
・北信越・東海地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２５日　新潟県　ニュー・グリーンピア津南
・四国・中国地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２６日　香川県　香川中央高校
・九州地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２５日　長崎県　小野体育館
・ジュニアエリート研修合宿参加者講習会
１２月２６日　味の素ナショナルトレーニングセンター
・世界ジュニア・ユース代表候補選手対面式ワークショップ
２月７日　味の素ナショナルトレーニングセンター
・全日本ジュニア選手権大会出場者アスリートサポートスタッフ講習会
２月２０日　茨城県高萩市　高萩市文化会館

③ ドーピング検査
・日本スポーツフェアネス推進機構、JADA、WADA(ITA)の下、競技会検査を以下の大会で実施した。また競技会外検査も実施した。
〔対象大会〕
・全日本選手権大会・全日本女子選手権大会
令和７年４月２４日～２７日（４日間）
福井県産業会館（福井県福井市）：33 検体（含む血液検査８検体）
・全日本女子選抜大会　令和７年１１月１９日～２０日（２日間）
ひらかわドリームアリーナ（青森県平川市）：10 検体
・国民スポーツ大会時に日本スポーツ協会の検査に協力した。（１０月）

④ ＴＵＥ申請大会の指定による実践
・世界選手権大会等の国際大会出場者及び国内トップ選手にアンチ・ドーピングの意識高揚を促した。

全日本選手権大会、全全日本女子選手権大会、全日本社会人/全日本女子選抜選手権大会、国民スポーツ大会（JADA管轄）

⑤ ＡＤＡＭＳへの居場所情報提出の徹底

・ＪＯＣ認定の強化指定選手及びＩＷＦからの指定選手並びに国際大会参加選手へ、居場所情報をADAMSへ提出するよう注意喚起をし、提出の確認・督促、最新情報の提供等をメール等で共有した。

(9) 審判員の資質向上

① 審判講習会の開催

審判員の資質の向上を目的に次の講習会を開催した。

・対象者： 国内１級審判資格、国際審判資格所持者の更新年にあたるため義務研修となる。また、１級審判を受験希望する審判員を対象とし、全国１０カ所で実施した。

・講習会：北海道ブロック
期日：令和７年８月１６日(土)
場所：北海道・士別市総合体育館
講師：三上正洋氏　　受講者８名

東北ブロック
期日：令和７年８月２２日(金)
場所：宮城県・宮城県農業高校
講師：佐藤ひろみ氏　　受講者５６名

関東ブロック
期日：令和７年９月６日(土)
講師：磯村賢一氏　　受講者３７名

東海ブロック
期日：令和７年８月１６日(土)
講師：豊田廣和氏　　受講者１５名

北信越ブロック
期日：令和７年８月２３日(土)
講師：牛山成剛氏　　受講者３７名

近畿ブロック
期日：令和７年８月１５日(金)
講師：島田隆宏氏　　受講者５７名

中国ブロック
期日：令和７年８月２３日(土)
講師：長谷章一氏　　受講者１７名

四国ブロック
期日：令和７年８月２３日(土)
講師：瀬部浩司氏　　受講者１８名

九州ブロック
期日：令和７年８月２２日(金)
講師：佐藤好一郎氏　　受講者４１名

沖縄県
期日：令和７年１２月２１日(日)
講師：佐藤好一郎氏　　受講者１３名

② 国際大会へ審判員等を派遣し、資質の向上を図ると同時に国際基準での競技運営能力の向上に努めた。

・ ２０２５世界ユース・ジュニア選手権大会
開催期間：令和７年４月２７日(日)～５月７日(水)
場　　所：ペルー共和国　リマ市
派遣人数：１名　佐藤好一郎氏

・ ２０２５アジア選手権大会
開催期間：令和７年５月６日(火)～５月１６日(金)
場　　所：中華人民共和国　江山市
派遣人数：１名　鶴野裕子氏

・ ２０２５世界選手権大会
派遣期間：令和７年１０月３日(金)～１０月１２日(日)
場　　所：ノルウェー王国　フェルデ市
派遣人数：１名　知念令子氏

・ 第３回アジアユースゲームズ
開催期間：令和７年１０月２２日(水)～１０月３１日(金)
場　　所：バーレーン王国　マナーマ市
派遣人数：１名　佐藤ひろみ氏

(10) 審判員の審査と認定

申請に基づき公認審判員の審査を行い、次に認定・推薦を行った。

認定者：国内１級　１４名、国内２級　２４名、国内３級　６０名

推薦者：国際１級　　５名、国際２級　　３名

登録者数：

年度		国内1級	国内2級	国内3級	国内計	国際1級	国際2級
令和5年度	総数	328	351	450	1129	59	64
	男子	308	312	362	982	52	61
	女子	20	39	88	147	7	3
令和6年度	総数	324	374	332	1030	61	70
	男子	304	303	348	955	54	67
	女子	20	44	84	148	7	3
令和7年度	総数	334	338	403	1075	70	67
	男子	311	284	321	916	63	62
	女子	23	54	82	159	7	5

(11) 競技規則集の販売

国際連盟のルール改正に伴い更新した競技規則集を希望者に販売した。

(12) インテグリティ教育（ハラスメント行為撲滅活動及び選手・指導者の資質向上）の充実

① 暴力、パワハラ、セクハラ、倫理観等に係わる研修を実施した

次に研修会・委員会・総会・会議等を通じて研鑽を深めた。

・全国指導者研修会
・全国高等学校体育連盟ウエイトリフティング専門部全国委員会
・全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技会監督会議
・全日本学生ウエイトリフティング連盟総会
・全国理事長会

② 指導者・選手に十分注意喚起し、軽率な行動を取らない、巻き込まれない、常に競技を考えた行動をとり法令を遵守する旨を周知した。

(13) ホームページの充実整備

法人として公開しなければならない情報はもとより、役員・選手のニーズに合わせた内容及び一般のユーザーの要望にも応えられるよう整備した。

(14) 記録の公認

競技・競技会規則に基づき、日本記録を認定し公表した。日本記録、ジュニア日本記録、大学記録、高校記録、中学記録が次に樹立された。

○２０２５年新記録認定について

〔旧階級の日本新記録の合計〕　　期　間：2025.01.01～2025.10.07

男子	日本	Jr日本	大学	高校	中学	合計
	１２	１７	１８	５	１１	６３
女子	日本	Jr日本	大学	高校	中学	合計
	７	４	４	４	０	１９

〔新階級の日本新記録の合計〕　　期　間：2025.10.08.～2025.12.31

(10月2日～10月10日までの世界選手権大会を含む)

男子	日本	Jr日本	大学	高校	中学	合計
	５	１３	１１	０	４	３３
女子	日本	Jr日本	大学	高校	中学	合計
	２	１６	１７	８	０	４３

Ⅳ. 大会開催事業

１. 国内大会開催事業

競技力の向上、競技の普及・振興、生涯スポーツの振興発展のため、次の大会を開催した。

① 大会名：第85回全日本選手権大会・第39回全日本女子選手権大会

期　日：令和７年４月２４日～４月２７日

会　場：福井県福井市　福井県産業会館

参加者：男子６８名、女子７８名

新記録：男子　日本新　２　大学新　４　大会新　１３
　　女子　日本新　４　大会新　１０

② 大会名：第71回全日本学生個人選手権大会
期　日：令和７年５月１６日～５月１８日
会　場：大阪府羽曳野市　はびきのコロセアム
参加者：男子１０６名、女子６８名
新記録：男子　大会新　１０
　　女子　日本新　１　大学新　１　大会新　１３
最優秀選手：男子　96kg級　西川　勝之　（日本大学４年）
　　女子　76kg級　西尾　明莉　（金沢学院大学３年）

③ 大会名：第４回全国高校女子競技会金沢大会
期　日：令和７年７月１２日・１３日
会　場：石川県金沢市　医王山スポーツセンター
参加者：女子１７１名

④ 大会名：第３回全国小学生交流大会
期　日：令和７年７月１９日
会　場：茨城県高萩市　高萩市文化会館
参加者：男子４７名、女子４０名

⑤ 大会名：第３９回全国男子中学生選手権大会・第２４回全国女子中学生選手権大会
期　日：令和７年７月２０日・２１日
会　場：茨城県高萩市　高萩市文化会館
参加者：男子６５名、女４１名
新記録：女子　大会新　３
最優秀選手：男子　55kg級　江口　鉄生（鹿児島県　屋久島町立安房中学校３年）
　　女子　45kg級　谷川　結良（熊本県　熊本市立武蔵中学校２年）

⑥ 大会名：第７２回全国高等学校選手権大会・第２７回全国高校女子選手権大会
期　日：令和７年８月８日～８月１１日
会　場：鳥取県米子市　米子コンベンションセンター
参加者：男子３２１名、女子９４名
新記録：男子　高校新２、大会新７、女子　Jr日本新１　大会新２
団体成績：
男子
１位 士別翔雲高校　50点　２位 本部高校　49点　３位 日本大学藤沢高校　44点
４位 東亜学園高校　43点　５位 四日市中央工業高校 40点　６位 新居浜南高校　38点
７位 高萩清松高校　36点　８位 諫早農業高校　35点　（優勝校は初優勝）
女子
１位 日川高校　42点　２位 明石南高校　41点　３位 埼玉栄高校　33点
４位 嘉手納高校　27点　５位 宮城県農業高校　21点　５位 尼崎北高校　21点
５位 西彼農業高校　21点　５位 小林高校　21点　（優勝校は２年連続２回目）

⑦ 大会名：第７９回国民スポーツ大会
期　日：令和７年１０月３日～１０月７日
会　場：滋賀県高島市　安曇川高校体育館
参加者：成年男子１３８名、少年男子１２３名、女子４５名
新記録：成年男子　Jr日本新　１　大学新　１　大会新　１３
　　女子　Jr日本新　１　高校新　１　大会新　１７
〔団体成績　天皇杯〕
１位　三重県 109点　２位　京都府　94点　３位　愛媛県　94点　４位　東京都　88点
５位　兵庫県　82点　６位　沖縄県　82点　７位　山梨県　78点　８位　福島県　71点
〔団体成績　皇后杯〕
１位　三重県　39点　２位　兵庫県　33点　３位　愛媛県　29点　４位　宮城県　26点
４位　佐賀県　26点　６位　大阪府　24点　７位　埼玉県　21点　７位　香川県　21点
７位　愛媛県　21点

⑧ 大会名：文部科学大臣杯第７１回全日本大学対抗選手権大会Ⅱ部
期　日：令和７年１１月１日・２日
会　場：大阪府羽曳野市　はびきのコロセアム
参加者：男１３８名
団体成績：
１位　日本体育大学 157点　２位　京都産業大学 126点　３位　桃山学院大学　87点
４位　大阪商業大学　54点　５位　福岡大学　47点　６位　近畿大学　42点
７位　関西学院大学　42点　８位　天理大学　42点　（1,2位校は次年度Ⅰ部へ）

⑨ 大会名：レディースカップ第１７回全日本女子選抜選手権大会
期　日：令和７年１１月１９日・２０日
会　場：青森県平川市ひらかわドリームアリーナ
参加者：高校生５１名、一般女子９１名
新記録：Jr日本新　４　大学新　１　高校新　８
団体成績
高校の部
１位　埼玉栄高校　29点　２位　日川高校　17点　３位　明石南高校　17点
４位　宮城県農業高校　16点　５位　嘉手納高校　14点　６位　鳥羽高校　12点
※　同点の順位は上位入賞の差です。
一般の部
１位　日本体育大学　37点　２位　自衛隊体育学校　30点　３位　金沢学院大学Ａ　18点
４位　いちご（株）　13点　５位　日体大ｱｽﾘｰﾄｸﾗﾌﾞ　10点　６位　警視庁　10点
最優秀選手：高校の部　58kg級　佐藤　和花　（宮城県　県農業高校）
一般の部　48kg級　鈴木　梨羅　（東京都　ALSOK(株)）
⑩ 大会名：内閣総理大臣杯第６２回全日本社会人選手権大会
期　日：令和７年１１月２１日～１１月２３日
会　場：青森県平川市ひらかわドリームアリーナ
参加者：男子１７６名
〔団体成績〕
総合成績：内閣総理大臣杯　自衛隊体育学校
１位 自衛隊体育学校 107点 ２位 警視庁　86点　３位 チームはぴりゅうＡ 65点
４位 Rock Eagles　56点 ５位 ﾁｰﾑｱｯﾌﾟﾘｰﾄ　54点　６位 チームめじろん　40点
〔各部門成績〕
○地域スポーツクラブチーム
１位 チームはぴりゅうＡ　65点　２位 Rock Eagles　56点　３位 ﾁｰﾑｱｯﾌﾟﾘｰﾄ　54点
○官公庁等チーム
１位 自衛隊体育学校　107点　２位 警視庁　86点　３位 大阪府警察　28点
○企業チーム
１位（株)久工業所　28点　２位 ＡＬＳＯＫ　17点　３位 奈和建設（株）17点
〔最優秀選手〕文部科学大臣賞：佐藤康太郎（埼玉県　自衛隊体育学校）
⑪ 大会名：文部科学大臣杯第７１回全日本大学対抗選手権大会　女子
期　日：令和７年１２月１２日
会　場：山梨県山梨市　山梨市総合体育館
参加者：女子８６名
新記録：日本新　１　Jr日本新　１　大学新　１０
団体成績：
１位 東京国際大学　108点　２位 金沢学院大学　77点　３位 日本体育大学　64点
４位 早稲田大学　52点　５位 平成国際大学　46点　６位 鈴鹿大学　38点
⑫ 大会名：文部科学大臣杯第７１回全日本大学対抗選手権大会Ⅰ部
期　日：令和７年１２月１３日～１２月１４日
会　場：山梨県山梨市　山梨市総合体育館
参加者：男子７９名
団体成績：
１位 日本大学　177点　２位 法政大学　127点　３位 早稲田大学　122点
４位 東京国際大学　115点　５位 明治大学　90点　６位 九州国際大学　74点
７位 中央大学　67点　８位 金沢学院大学 57点　９位 平成国際大学　11点
10位 慶応義塾大学　6点　(9,10位校は次年度Ⅱ部へ)
新記録：Jr日本新　６　大学新　６
⑬大会名：ＪＯＣジュニアオリンピックカップ第４５回全日本ジュニア選手権大会
期　日：令和８年２月２１日～２月２３日
会　場：茨城県高萩市　高萩市文化会館
参加者：男子６０名、女子５０名
新記録：男子　中学新　７
女子　Jr日本新　３　高校新　７
最優秀選手：男子　65kg級　上坂　健斗　（滋賀県　日本大学）
女子　53kg級　佐藤　和花　（宮城県　県農業高校）
⑭大会名：第７０回全日本学生新人選手権大会
期　日：令和８年３月５日～７日
会　場：埼玉県上尾市　スポーツ総合センター

参加者：男子１０５名、女子１８名
最優秀選手：男子　65kg級　小林　光星　（法政大学１年）
女子　58kg級　脇長　葵　（金沢学院大1年）

⑮大会名：第２２回全日本学生選抜大会
期　日：令和８年３月７日・８日
会　場：埼玉県上尾市　スポーツ総合センター
参加者：男子１６名、女子３１名
新記録：男子　日本新　２　大学新　４
最優秀選手：男子　94kg級　西川　勝之　（日本大学４年）
女子　58kg級　佐藤　友咲　（日本大学４年）

⑯大会名：第４１回全国高等学校選抜大会
期　日：令和８年３月２６日～３月２８日
会　場：石川県金沢市　金沢市総合体育館
参加者：男子１０６名、女子８３名
新記録：男子　高校新２
最優秀選手：男子　60kg級　天久星七　（沖縄県　本部高校２年）
女子　53kg級　上地未来　（埼玉県　埼玉栄高校２年）

Ｖ．会務

本会の目的達成及び業務を達成するため、次の会議を開催した。

(1) 社員総会の開催

① 令和７年度　定時社員総会
期　日　令和７年６月２２日（日）
場　所　東京都　味の素ナショナルトレーニングセンター
議　題　「第１号議案」令和６年度事業報告及び決算報告について
「第２号議案」令和７・８年度理事・監事選任について
「第３号議案」令和７・８年度名誉会員について

② 令和７年度　臨時社員総会
期　日　令和８年３月２０日（金）
場　所　東京都　日本青年館ホテル
議　題　「第１号議案」　令和８年度事業計画案について
「第２号議案」　令和８年度予算案について

(2) 理事会の開催

① 第１回理事会
期　日　令和７年　６月７日（土）
場　所　東京都　味の素ナショナルトレーニングセンター
議　題　「報告事項」
１．各種大会報告
①全国高校選抜大会 ②全日本選手権大会 ③全日本学生個人選手権大会
④2025世界ユース・ジュニア選手権大会
２．2025ＩＷＦ役員改選結果について
３．日本スポーツ協会関連について
４．ＩＷＦ・ＡＷＦ情報 について
５．ＪＳＣアスリート助成への推薦について
６．各委員会より
①選手強化委員会 ②アンチ・ドーピング委員会 ③普及委員会 ④その他
７．全国高体連より
８．全日本学生連盟より
９．２０２６第２０回アジア競技大会関連について
10．その他
「審議事項」
１．令和６年度事業報告・決算報告について
２．令和７，８年度役員候補者の推薦について
３，令和７，８年度名誉会員の推薦について
４．国際審判員の推薦及び国内審判員の認定、全国大会審判編成について
５．令和７年度正会員の承認について
６．賛助会員の入会について
７．規程の一部改訂について

② 第２回理事会
期　日　令和７年　９月１３日（土）
場　所　東京都　味の素ナショナルトレーニングセンター

議　題　「報告事項」

１．各種事業終了報告について

国内大会

①全国女子高校競技会金沢大会　②全国小学生交流大会　③全国中学生選手権大会
④全国高校総合体育大会

国際大会

①東アジア大会（日韓中フレンドシップ大会）②2025日韓中ジュニア交流競技会

合宿関係

２．今後の事業について
３．国民スポーツ大会関係について
４．ＩＷＦ・ＡＷＦ国際情報について
５．日本オリンピック委員会関連
６．全日本学生連盟より
７．全国高体連専門部より
８．各委員会より
①選手強化委員会　②審判委員会　③アンチ・ドーピング委員会
④普及委員会　⑤マスターズ委員会
９．２０２６アジア競技大会組織委員会より
10．業務執行理事よりの報告
11．その他

「審議事項」

１．令和７年・８年度各委員会委員の承認について
２．第一次補正予算案について
３．スポーツ団体におけるガバナンスコードの審査内容について
４．規程の新規作成と、1部改訂について
５．新階級による日本記録設定について
６．国内審判員の認定及び全国大会審判編成の承認について
７．正会員の承認について

③ 第３回理事会

期　日　令和７年１２月６日（土）
場　所　東京都　味の素ナショナルトレーニングセンター
議　題　「報告事項」

１．各事業の終了について
①2025世界選手権大会　②アジアユースゲームズ　③第７９回国民スポーツ大会
④第71回全日本大学対抗選手権大会（Ⅱ部）⑤第17回全日本女子選抜選手権大会
⑥第62回全日本社会人選手権大会　⑦合宿・行事関係
２．今後の事業について
３．ＩＷＦ・ＡＷＦ関連
４．日本スポーツ協会関係
５．各委員会より
①選手強化委員会　②競技委員会　③審判委員会　④アンチ・ドーピング委員会
⑤普及委員会　⑥アスリート委員会　⑦マスターズ委員会
⑧コンプライアンス委員会
６．全国高体連より、
７．全日本学生連盟より
８．業務執行理事よりの報告
９．事務局より
10．その他

「審議事項」

１．規程の一部改訂について
２．令和７年度第２次補正予算について
３．令和７年度表彰における優秀選手の推薦について
４．令和７年度「功労賞・優秀選手・優秀指導者」選考委員会委員について
５．委員会委員の追加承認について
６．新階級における日本の対応について
７．２０２６アジア競技大会関係
８．審判委員会より　①国際審判員の推薦及び国内審判員の認定について
②全国大会の審判編成について
９．令和８年度年間行事計画案について

10．その他

④ 第４回理事会
期　日　令和８年　３月１日（日）
場　所　東京都　味の素ナショナルトレーニングセンター
議　題　「報告事項」
１．各種大会終了
①第７１回全日本大学対抗選手権大会女子
②第７１回全日本大学対抗選手権大会Ｉ部
③第４６回全日本ジュニア選手権大会
２．２０２８ロサンゼルスオリンピック参加枠獲得システムについて
３．ＩＷＦ・ＡＷＦ関連報告
４．日本スポーツ協会関係
５．令和８年度全日本選手権大会並びに日韓中フレンドシップ大会開催について
６．各委員会より
(1)選手強化委員会　(2)競技委員会　(3)指導者育成委員会　(4)普及委員会
(5)審判委員会　(6)国際委員会　(7)アンチ・ドーピング委員会
７．全国高体連より
８．令和９年勲章及び褒章候補者の推薦について
９．事務局より
１０．その他
「審議事項」

１．令和７年度臨時社員総会提案事項について
・令和８年度事業計画案及び予算案
２．規程の一部改訂について
３．国際審判員の推薦、国内審判員の認定について
４．全国大会の審判編成案について
５．令和７年度日本協会表彰について
６．令和７年度感謝状の贈呈について
７．日本オリンピック委員会
①ＪＯＣコーチ等の推薦について
８．ソーシャルメディアポリシーの新設について
９．賛助会員の入会について

⑤ 臨時理事会
期　日　令和７年　６月２２日（日）
場　所　東京都　味の素ナショナルトレーニングセンター
議　題　「審議事項」
１．会長の選任について
２．副会長、専務理事、常務理事の選任について
３．各委員会、正副委員長選出について
「報告事項」
１．定款及び規程について
２．令和７年度年間行事について

⑥ 臨時理事会
期　日　令和８年　３月２０日（金）
場　所　東京都　日本青年館
議　題　「報告事項」
１．大会終了
①第７０回全日本学生新人選手権大会
②第２２回全日本学生選抜選手権大会
２．選手協会委員会より
２０２６アジア選手権大会の開催延期について
「審議事項」
１．審判委員会　国際大会の審判の派遣について
２．マスターズ委員会関連について
３．その他

VI. 財政の確立
各種事業の推進に、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本スポーツ協会、スポーツ庁、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団等に対し、

助成金・委託金・補助金等の要望・申請を行い、本会の事業実施への充当財源に努めた。

Ⅶ. ２０２８ロサンゼルスオリンピックに向けての計画及び２０３２年に向けて

(1) 選手強化計画

① ３年後に迫った２０２８ロサンゼルスオリンピック対策強化戦略プランに基づく強化の推進

・ ２０２５世界選手権では男子７１kg級宮本昌典選手が銀メダルを獲得した。女子８６kg級長島和奏選手は５位に入賞した。

② ３年後の２０２８年ロサンゼルス及び２０３２年ブリスベンオリンピックに向けて、中学生、高校生、大学生の育成強化「次世代アスリート育成」事業を実施した。

③ ＰＤＣＡサイクルの確認に基づく強化の推進

→３月の選手強化委員会で実施し、次年度につなげている。

④ 指導者の育成

→「コーチ１」の事業を実施した。

(2) 競技の普及振興対策

① ５０００人対策プロジェクト推進

・登録選手数（現在：役員約１２００人、選手約３５００人）を３００人増やし５０００人を目標とし活動した。

→全国６地区で普及活動事業を実施した。また、小・中学生のウエイトリフティング教室等も全国４５カ所で実施されている。

・競技の露出の増大を図る

→ウエイトリフティングを漫画で紹介およびその漫画動画をＨＰ及び各競技会場で流した。

・メディアとタイアップする

→報道機関への大会結果報告を実施した。

・タレント発掘事業（全国各地区での普及目的事業）を継続して実施した。

→上記登録者・競技者増加を目指して実施した。

② 競技会開催による普及対策

・第３回の小学生交流大会を７月に茨城県高萩市にて開催し、好評であった。

(3) 国際発信力、国際大会運営能力の向上

① ＩＷＦ・ＡＷＦ役員等ポスト獲得事業の推進

・２０２６年国際ウエイトリフティング連盟理事選挙を見据えた活動としてアジアウエイトリフティング連盟においてもロビー活動を実施した。

② 世界・アジアの各選手権大会及び国際総合大会へのテクニカルオフィシャルの派遣による国際大会運営能力の向上

・日本オリンピック委員会の国際審判員向上事業を実施し派遣した。

(4) 組織運営（ガバナンス、コンプライアンス、インテグリティ教育の向上）

① 事務局職員の分業化に努めた。

② 「スポーツ競技団体ガバナンスコード」に基づく中長期計画の実行に向けて各委員会が努力した。

③ 各委員会の充実のため業務執行理事が各委員会へ指導・助言を行った。

(5) 国際大会の開催準備

競技力の向上、国際大会運営能力の向上及び競技の普及振興を目的とした。特にこれまでの国内や国際大会開催の経験を活かし、競技役員の運営力を更に高めて大会の開催準備を進めている。

・令和８（2026）年「第２０回アジア競技大会（名古屋）」の開催準備を進めた。

役員：スポーツコーディネーター　岡田純一氏
テクニカルオペレーターマネージャー　平岡　力氏
スポーツマネジャー　佐藤ひろみ氏
アジア連盟テクニカルデレゲイト　知念令子氏

会期：令和８年９月２３日～９月２９日　（アジア競技大会会期9/19～10/4）

場所：愛知県　名古屋市中小企業振興会館「吹上ホール」

Ⅷ. 法人の運営体制の充実を図るための取組

令和6年の制度改正に伴い、財務規律の柔軟化などによって公益法人は機動的な法人運営を行うことが可能となりますが、これにあわせて、各法人は自主的かつ自律的なガバナンスの充実を図ることが求められます。

当協会においては運営体制の充実を図るため、令和７年６月の役員選任にて外部理事および外部監事を選任し、外部の視点から法人運営を監視し内部不正や不備を未然に防ぐためのガバナンス強化を図ることとしました。